

『遠野市史』編さんの道程

- ▶『遠野市史』『宮守村誌』の記述は昭和40年代前半まで
- ▶最新の調査研究によって新たな解釈が求められる
- ▶歴史解釈の根幹となった資史料をまとめた資料編がない



現状と課題

- ▶民俗編として、まとまった資料が必要
- ▶市の歴史に関わる資料の散逸、途絶の懸念
- ▶歴史、文化に興味を持つ人材の減少



昭和から平成へ

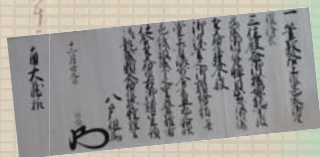


平成19年に開設したねっと・ゆりかご



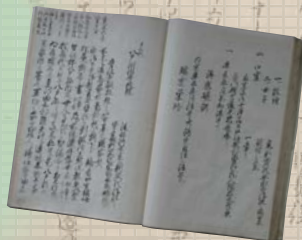
震災時の炊き出しの様子

- ▶昭和40年代前半から現代までをまとめた現代編の編さん
- ▶南部家文書資料の調査を踏まえた資料編の編さん
- ▶最新の調査研究内容を踏まえた通史編の編さん



求められる編さん

- ▶民俗文化をまとめた民俗編の編さん
- ▶歴史に関わる資料の調査収集と適正な保存管理
- ▶各種講座開催による人材の育成



平成27年度準備期間

平成28年度 編さん開始

平成31年
現代編

平成38年
通史編

市史の内容

合計8冊(予定)

平成39年
民俗編

随時刊行
資料編

平成39年度 編さん終了



そして入部400年へ

遠野南部氏が寛永4年(1627年)に八戸から遠野移封により統治が始まって、平成39年(2027年)で400年を迎える。
市史編さん終了を踏まえ、現在の遠野の礎を築いた遠野南部氏の歴史にスポットを当てる各種事業を推進する。